

〈事務局報告〉

1. 平成19年度 前期 理事会および All About Swine 編集委員会

平成19年5月25日(金)午前 東京大学 山上会館 会議室にて理事会を開催した。

出席者；波岡茂郎，赤池洋二，相馬由和，名越仁宣，浅井鉄夫，櫻井 忠，廣瀬富雄，小林秀樹，神山佳三，関 哲夫，鹿又巖一，林 洋一，加地雅也(家入理事代理)。

審議事項は，平成19年度総会議案(平成18年度事業報告と決算，平成19年度事業予定と予算，理事変更)および第18回研究会講演内容。

理事会後開催された編集委員会では31号および32号の内容について検討された。

2. 平成19年度 定期総会

平成19年5月25日(金)午後 東京大学 山上会館 大会議室にて定期総会を開催した。

名越副会長挨拶の後小林秀樹副会長を議長に選出し，平成18年度事業報告，同年度決算報告，平成19年度事業計画および予算案について事務局の説明に基づき審議され，いずれも原案通り可決承認された。

1) 平成18年度事業報告

前期理事会を平成18年5月29日東大 山上会館で開催。

同日総会および研究会を同場所にて開催。「動物用注射用医薬品の不適切使用による病変形成」，「豚胚の体外生産と非外科的移植の可能性」ほか計4題の講演が行われた。

平成18年10月18日 日本SPF豚協会内にて開催。

平成18年9月と平成19年2月に All About Swine 29号，30号を刊行した。

2) 平成18年度会計報告(別表参照)

3) 平成19年度事業計画

前期理事会を平成19年5月25日午前に開催，同日午後 定期総会ならびに研究会を同場所にて開催。

10月 後期理事会開催予定。

9月および翌年2月に All About Swine 31号，32号を刊行予定。

4) 平成19年度予算案(別表参照)

5) 理事の交替

佐々木 隆志氏(退任)，筒井 真理子氏(退任)，林 洋一氏(新任)，鹿又 巖一氏(新任)

なお，長年理事を務めていただいた矢挽 輝武氏は平成19年2月にご逝去されました。

ご報告するとともにご冥福をお祈りいたします。

3. 第17回研究会

総会后以下4題の講演を行った。参加者約110名。本講演の内容は All About Swine 31号に掲載予定。

①日本SPF豚協会 年次報告(藤田 世秀氏)

②ピッグフローの改善による PRRS コントロール事例(石川 弘道氏)

③スリーセブン・パーシャルディポピレーションによる成績改善事例(坂爪 義弘氏)

④PRRSが浄化されたか，と思われる農場例(名越 宣仁氏)

平成18年度決算報告書

日本SPF豚研究会
平成19年5月25日

	18年度予算額 (円)	18年度決算額 (円)	備 考
(収入の部)			
前年度繰越分	463,381	463,381	
会費正会員/平成16年	40,000	8,000	4名
会費正会員/平成17年	120,000	76,000	38名
会費正会員/平成18年	600,000	442,000	221名
会費正会員/次年度以降分	0	6,000	3名
会費賛助会員	160,000	180,000	9社
会費特別会員	100,000	100,000	日本SPF豚協会
広告料	700,000	630,000	AAS 28, 29号分
預金利息	2	2	
雑収	10,000	39,600	AAS販売, 研究会参加費, 懇親会残金
収入合計	2,193,383	1,944,983	
(支出の部)			
会誌原稿料	550,000	298,200	AAS 29, 30号分
会誌編集料	120,000	120,000	同
会誌印刷代・送料	800,000	602,720	同
講演会謝礼	80,000	80,000	4名
研究会開催費	120,000	99,050	施設費, 要旨, 演者懇親会代, お茶ほか
会議費	70,000	67,706	施設使用料など
通信費	35,000	37,940	切手, 現金書留など
事務費	30,000	23,132	ラベル代, 研究会封筒, ほか
APVS 2009 準備金	50,000	50,000	
雑費	10,000	830	
予備費	328,383	0	
(支出小計)	2,193,383	1,379,578	
次年度繰越金	0	565,405	
支出合計	2,193,383	1,944,983	

*研究会開催基金として1,500千円を別会計とする。
会計監査の結果収支が適正であったことを認めます。
平成19年5月2日

監査 高橋 吉男

上記以外に未収金として ¥315,000 - (2月発刊 AAS 30号分広告料) があります。

平成 19 年度予算

日本 S P F 豚研究会
平成 19 年 5 月 25 日

	19 年度予算額 (円)	備 考
(収入の部)		
前 年 度 繰 越 分	565,405	
会費正会員／平成 17 年	40,000	20 名
会費正会員／平成 18 年	120,000	60 名
会費正会員／平成 19 年	600,000	300 名
会 費 賛 助 会 員	180,000	9 社
会 費 特 別 会 員	100,000	日本 SPF 豚協会
広 告 料	700,000	AAS No.30, 31 号分
預 金 利 息 入	0	
雑 収 入	10,000	
収入合計	2,315,405	
(支出の部)		
会 誌 原 稿 料	550,000	AAS No.31, 32 号分
会 誌 編 集 料	120,000	同
会 誌 印 刷 代 ・ 送 料	800,000	同
講 演 会 謝 礼	40,000	2 名分
研 究 会 開 催 費	120,000	第 17 回研究会
会 議 費	70,000	
通 信 費	35,000	
事 務 費	30,000	
A P V S 2 0 0 9 準 備 金	50,000	APVS：アジア養豚獣医学会(2009)'06～08年 3ヶ年間毎年
雑 費	10,000	
予 備 費	490,405	
(支出小計)	2,315,405	
次年度繰越金	0	
支出合計	2,315,405	

* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に22字×33行、横書きで作成して下さい。手書きの場合は、原稿用紙を送付しますのでご請求下さい。
2. 原稿の1枚目には表題、投稿者名、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒305-0856 つくば市観音台3-1-5 独立行政法人・動物衛生研究所 小林秀樹」までお願いします。

【編集後記】

ミートホープの食肉偽装、中国TV局による段ボール肉まん事件の捏造など食肉に纏わる偽装がどれだけ多いことだろう。国内の食肉Gメンによると小売り業者の過半数が何らかの不正をしており、特に牛肉はひどいという。21世紀、飽食の日本でこのような偽装が堂々に行われていることに驚かされるとともに、肉はまだまだ高級食材であ

ることの裏付けなのかもしれない。

業者が消費者を騙すのは論外であるが、残念なことに昨今の状況では消費者も騙されないよう日頃から五感をみがいておく必要がある。子供たちには学校給食や家庭料理を通じた食育も大切である。とはいえ、調理される前の生肉をみせて部位だけでも説明できる親がどれだけいるだろうか。食べている肉の動物種も「？」では、ハンバーグなどのミンチ肉ではお手上げである。だから結論は「うまければいいんじゃないの」ということになり、ついでに「安ければもっといい」が加わって、「安全・安心」なんかどこ吹く風である。非生産者である国家（政府）も個人もあてにならないが、まじめに良いものを作り続ける生産者は子供たちの食育に必ず貢献するだろうし、なんといっても仕事に大きな「生き甲斐」を感じられているのではないだろうか。

（小林秀樹）

「All About Swine」

第31号 2007年9月発行 定価1,500円

発行者 岩村祥吉

編集者 小林秀樹

発行所 日本SPF豚研究会

事務局 (株)伊藤忠飼料研究所

予防衛生チーム内

〒325-0103

栃木県那須塩原市青木919

Tel: 0287(64)3652

Fax: 0287(63)8384